

スタートアップ深層 ～ 世界が注目する理由に迫る ～



個人の知覚・感情の状態を眼球運動
により評価する技術



独自のカリキュラムを提供する
スポーツ特化型プラットフォーム

毎年多くのスタートアップ企業が誕生するイスラエル。革新的な技術やプロダクトを生み出し、世界から注目を集めているスタートアップの中から、今回、Eye-Minders社とMyBodyPro社の2社に彼らの創業過程や事業戦略、今後の展望、さらには日本市場への思いや本音を聞いた。

1.

Eye-Minders Ltd.

Dr. Daphna Palti-
Wasserman

CEO

個人の知覚・感情の状態を眼球運動により評価する技術

Eye-Minders社（以下：同社）は、眼球運動や視線の動きの分析によって、個人の認知および感情の状態を評価する革新的な技術を開発している。同社のソリューションは、AIと機械学習に基づいた技術を活用しており、正確な評価を提供する。これは、セキュリティ、ヘルスケア、人事など多様な分野に応用可能であり、ポリグラフ検査を利用する既存の方法と比較して優れているという。



今回は、CEOのDaphna Palti-Wasserman博士に取材を行った。

眼球運動の分析による革新的な脅威検出と信頼性の高い評価の実現

人間の眼球運動から得られる情報は豊富であり、分析価値が大いにある反面、その複雑さにおいて十分な研究が行われてこなかった。さらに、得られた視覚情報を多岐にわたる分野に活用するには、それぞれの分野の専門家による協力を得ることが必要である。同社は、AIや機械学習を活用し、数千ものデータ集計を行い、多様な分野の専門家の協力のもと、高い正確性を誇るツールを開発した。15年におよぶ眼球に基づく技術の開発経験を活かし、眼球運動における情報の抽出と利用における課題を克服した。

同社は2018年、起業、研究開発、経営で20年の経験を持つDaphna Palti-Wasserman博士によって設立された。チームメンバーは、眼球関連の技術、研究開発、セキュリティ、ポリグラフ検査、ヒューマン・インテリジェンスで豊富な実績を持つ。

AI技術を用いた新たなリスク評価

同社は、革新的なディープテクノロジー、眼球分析、AIを組み合わせ「Aletheia-Intelligence™ (AI)」を開発した。これにより、ユーザーが人間に関連するさまざまな脅威を克服できるようにした。

同社の「Aletheia (システムとサービス)」には、カメラ、スクリーン、独自のソフトウェア、デジタル質問票が含まれる。これは、ユーザーのニーズに合わせたカスタマイズが可能であり、操作を行う上で専門家を必要としない。特許によって保護されている同社のソリューションを使用することで、迅速（数分）で正確（95%）に、対象の信頼性とリスクの評価を行うことができる。回答者が質問に回答する際に、その眼球運動を捉え、分析する革新的なアプローチとなっている。



Daphna Palti-Wasserman 博士

CEO から日本企業に向けたメッセージ

日本の市場は革新的な技術に対して好意的であると感じています。弊社の技術はセキュリティ分野における親和性が非常に高く、類似サービスの提供経験をお持ちの企業様と提携することができれば、市場にインパクトを与えられると信じております。

<https://www.eye-minders.com/>

2.

MyBodyPro Ltd.

Mr. Guy Levy

CEO & Co-Founder

独自のカリキュラムを提供するスポーツ特化型プラットフォーム

MyBodyPro 社（以下：同社）は、スポーツチームやアスリートが潜在能力を最大限に引き出す為に必要なトレーニング・カリキュラムを提供するプラットフォームを開発している。



同社のプラットフォームは、各チームやアスリートそれぞれのスケジュールやニーズに適応した最適なトレーニング・カリキュラムを提供する。またチーム全体のアクティビティを可視化させることで、コーチの作業負担を大幅に軽減しながらチームのコントロールを強化する。

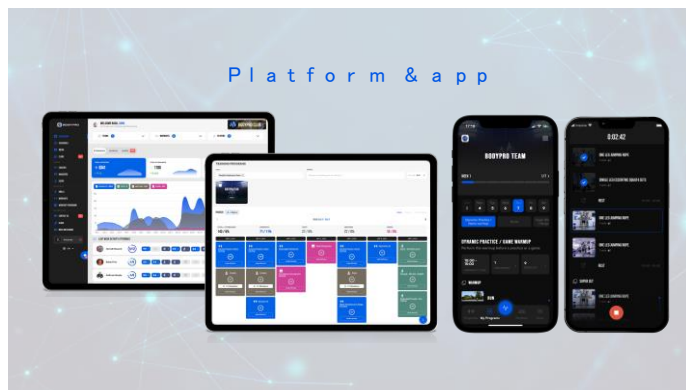
今回は、CEO 兼共同創業者の Guy Levy 氏に取材を行った。

創業者が経験したアスリートとしての挫折が原動力

同社の成り立ちは、CEO 兼共同創業者の Guy Levy 氏（以下：同氏）個人がアスリート時代に経験した挫折が原動力となっている。同氏は、かつて NBA を目指すアスリートとして日々過酷なトレーニングに励んでいたが、プロアスリートにとって必要なスポーツ科学に基づいた指導がなかったため、両足に故障を起こし離脱を余儀なくされた。

今日のスポーツ業界では、技術の進歩が従来のトレーニング方法に対して根本的に変革をもたらしているが、依然として一部のチームのみがこの恩恵を受けている状態である。同社は、テクノロジーとスポーツ科学的な専門知識を活用し、このような格差を埋めることを目的としている。

同氏は、プラットフォーム開発には欠かせない卓越した技術的知見を有する Alex Prober 氏（CTPO 兼共同創業者）と共に同社を創業した。



独自のアルゴリズムにより効果的なトレーニング方法を提供

同社のプラットフォームは、独自に開発されたアルゴリズムを活用し、ユーザーにとって最も費用対効果の高いソリューションを提供するという独自性を持つ。これにより、以前はリソースが潤沢にあるチームにしか実現できなかったトレーニング手法を、予算が限られたチームも行うことが可能に

なった。従来の指導側に大きな負担が掛かるソリューションとは異なり、同社のソリューションは、コーチの負担を軽減する AI 機能を導入することで 24 時間体制のサポート体制を確保することを目指している。

さらに現在は、既存のスポーツ特化型管理システムや IoT 機器等との統合を進めており、オペレーションを簡素化するためのエコシステムを作り出すことに成功している。



Guy Levy 氏

CEO 兼 Co-Founder から日本企業に向けたメッセージ

日本は、数々の先進国の中でも有数の「スポーツ大国」と認識しており、弊社のソリューションが必要とされるニーズがあると確信しております。今後は、より多くの日本のスポーツ従事者に弊社のプラットフォームを知って頂きたいと考えております。

<https://mybodypro.fit/>